

別記様式

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	新潟港（西港地区）高濃度濁水モデル化研究委託
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 新潟港湾・空港整備事務所長 松本 祐二 新潟県新潟市中央区入船町4-3778
契約締結日	平成27年7月6日
契約の相手方の氏名及び住所	神奈川県横須賀市長瀬3-1-1
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	7,943,101 円
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	7,948,096 円
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、出水時の河川高濃度濁水の塩水くさび先端部での挙動解明に向け、海水・淡水が同時に使用可能な流動水槽を用いて、塩淡境界面における高濁度水の進入挙動及び流動泥の堆積を把握するための水槽実験を行う。また、現地データの解析結果および実験結果を基に、現象メカニズムに則した土砂の埋没現象のモデル化について検討し、埋没予測シミュレーションの高精度化を図る。</p> <p>本業務実施に当たっては、下記の要件が必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①淡水及び海水の境界面を有する状況下における高濃度濁水の挙動を把握できる水槽実験を実施する能力を有すること。</li> <li>②港内埋没の現象を把握できる高度な知見を有すること。</li> <li>③実験と過去のデータを基に総合的に埋没実態解析を行う高度な技術力を有すること。</li> </ul> <p>国立研究開発法人港湾空港技術研究所は、下記のとおり要件を満たす高い能力を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①海底での底質移動の観測や実験手法に関する多数の研究実績があり、研究成果を学術講演会等において発表していることから、塩淡境界面における高濁度水の進入挙動及び流動泥の堆積を把握するための高度な解析技術を有していると判断できる。</li> <li>②淡水及び海水の境界面を有する状況下における高濃度濁水の挙動を把握できる水槽実験を行った実績があり、本水槽実験を実施する能力を有していると判断できる。</li> </ul> <p>また、本業務の発注にあたり、参加希望の有無を公募により事前確認を行ったが応募者はいなかった。</p> <p>以上のことから、同法人は、本業務を効率的且つ確実に実施しうる唯一の機関であると判断されるので、会計法第29条の3第4項「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」に基づき、国立研究開発法人港湾空港技術研究所と随意契約するものである。</p>
備考	